

# いつも一緒に 富山のペットたち

リッサウイルス感染症は、ラブドウイルス科リッサウイルス属によって起きる感染症のことです。

一般の人あまり耳にするこ  
とがない病名かもしれませんが、  
狂犬病もこの中に含まれて  
います。狂犬病は全ての哺乳類  
が感染する恐れがあります。狂  
犬病にかか  
った動物に  
かまれる  
と、唾液に  
混じったウイルスが体内に侵入  
して感染。発病すると、発熱や  
食欲不振を訴えた後、まひや精  
神錯乱などの神経症状を来た  
し、昏睡や呼吸障害でほぼ10  
0%死亡します。



国内では1956年に狂犬病  
が発生して以降、リッサウイル  
ス感染症の発生は確認されてい  
ません。2006年に海外で感  
染し、帰国後に発症したケース  
があります。

## アライグマから狂犬病

日本では、狂犬病予防法で毎  
年1回予防接種を受けることが  
義務付けられており、これによ  
って病気の発生が防がれていま  
す。厚生労働省によると、20  
13年度は登録されている犬の

いせ動物病院院長  
(射水市戸破)

伊勢 哲生

## リッサウイルス感染症



狂犬病の予防接種を受ける犬。今年も6月末まで実施している

# 哺乳類全てに感染の恐れ

うち72.6%が予防接種を受け  
ていました。しかし他の機関の  
統計では、未登録の犬が増えて  
いるため、割合はもっと低く45  
%程度になるとみられています。  
世界保健機関（WHO）は、  
感染拡大を防止する注射接種率  
を70%以上としています。

感染源は犬だけではありません  
。米国では、アライグマによ  
って狂犬病に感染するケースが  
最も多くなっています。日本で  
もアライグマの数が年々増加し  
ており、農作物被害とともに対  
策を考えていく必要があります。

### コウモリが原因

ヨーロッパ、オーストラリア、  
米国などでは、コウモリにかま  
れたり、唾液に触れたりして、  
狂犬病に似た症状を引き起こす  
リッサウイルス感染症が発生し  
ています。欧州コウモリリッサ  
ウイルスや豪州コウモリリッサ  
ウイルスなどが原因です。発症  
すると有効な治療方法がない恐  
ろしい病気です。海外で古い建  
物などを訪れる場合は、コウモ  
リに触れないよう、十分に注意  
してください。

狂犬病など一部のリッサワイ  
ルス感染症には、ワクチンが有  
効とされています。ワクチンに  
は病気の流行地域に行く場合な  
どに予防として受ける「暴露前  
ワクチン」と、感染した可能性  
がある場合に、発症を防ぐため  
接種する「暴露後ワクチン」が  
あります。リッサウイルス感  
染症は潜伏期間が長いので、こ  
の間に暴露後ワクチンを複数回投  
与することで発症をほぼ防ぐこ  
とができます。一方、暴露前ワ  
クチンを受けていても、ウイル  
スに感染した場合は暴露後ワク  
チンを打つ必要があります。

北陸には現在、暴露後ワクチ  
ンを常備している病院はありま  
せん。他の医療機関から取り寄  
せてもらい、ワクチンを受けら  
れる病院は数カ所あります。  
今年も4月1日から狂犬病の  
予防接種時期がスタートしまし  
た。6月末まで実施します。リ  
ッサウイルス感染症を発生させ  
ないよう、愛犬の狂犬病予防に  
協力をお願いします。4月中は  
県獣医師会所属の獣医師が各地  
区センターを  
巡回します。  
会場に行けな  
い人は各動物  
病院で受けて  
ください。